



MYOKOボランティア養成キャンプ

実施期間：令和6年5月18日(土)～19日(日)

目的・趣旨

青少年の自立や健全育成、社会参加を促進する上で重要な役割を果たす青少年ボランティア活動を担う法人ボランティアの養成を目的とし、講義や演習、野外活動体験等の研修を通して、青少年教育におけるボランティア活動に必要な基礎的な知識・技術について学ぶ機会とする。

事業概要

【参加者数】 44名（大学生40名 高校生4名）

【実施内容】 国立青少年教育振興機構ボランティア養成共通カリキュラムに基づき、各種講義や演習を実施した。（以下が主なもの）

□（講義）青少年教育 □（講義）ボランティア活動の意義

□（講義・演習）安全管理 □（講義・演習）ボランティア活動の技術

【外部指導者】（講師） 中野 充 氏（新潟青陵大学 准教授）

（講師） 頸南消防署員

（法人ボランティア） 13名 （インターン生） 1名

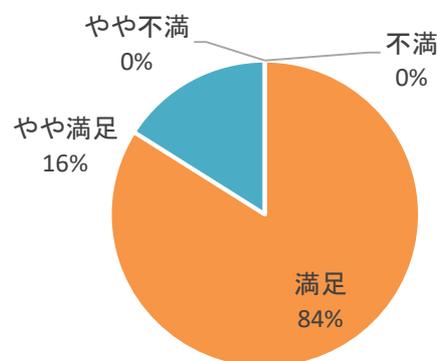
事業のポイント

- 近隣大学と連携して学外実習等に位置づけ、参加した学生が単位取得できるようにした。
- 先輩となる法人ボランティアが参加者の活動を支援し、法人ボランティアとしての活動のイメージがつきやすいようにした。

成果

- 参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。
- 近隣大学との連携により、効果的な広報等もできたことから、参加者数も40人以上となった。
- アイスブレイクや朝のつどいを先輩ボランティアが中心となって行ったことにより、参加者同士や先輩ボランティアとの関係が深まった。
- 1日目の最後にYWT法を用いた振り返りを行ったことにより一人ひとりの学びや気づきを知ることができた。
- ボランティアの活動紹介では、事業内容の紹介だけではなく自分が成長した点や子供とのエピソードを多く取り入れたことによりボランティア活動を身近に知ってもらうことができた。

参加者満足度



事業の様子



開会式



アイスブレイク



安全管理で実施した普通救命講習



野外炊事



体験学習法の理解



集合写真

詳しい様子はこちらより！



<https://youtu.be/d1CioPt9nCY>



自然の家 公式動画(YouTube)

妙高三ミチャンネル



参加者の声

- 今回の研修に参加して、これからボランティアをするに当たって必要な知識を得ることができました。多くの学生と交流することができて本当によかったです。
- 法人ボランティアの活動について理解が深まったことと先輩方のお話を聞いて興味が湧きました。これからボランティア活動に進んで参加していきたいと思いました。

課題

- アンケートの「どのような方法で事業のことを知ったか」という質問について、「学校からの案内」の回答が最も多かった。SNSを活用した広報を行ったが、効果を得ることができなかった。効果的なSNSの活用を考えていきたい。
- 継続的なボランティアへの参加を促すために、交流会等の自主企画やボランティアが成長することができる場を提供していきたい。